

修士課程

1. 履修上の注意

(1) 修了所要単位について

	基礎科目	専門科目	選択必修科目	学籍科目	選択科目	修了所要単位 合計
労働組合プログラム	10 単位 (必修)	プログラム毎に 10 単位 (必修)	4 単位以上	4 単位 以上	8 単位以上	36 単位以上
協同組合プログラム			6 単位以上		6 単位以上	
NPO プログラム			4 単位以上		8 単位以上	

※課程修了には、上記単位の修得のほか、修士論文の審査および最終試験に合格しなければなりません。

(2) 科目履修上の注意点

①基礎科目について

各プログラム共通の必修科目です。1年次に履修してください。

②専門科目について

- 各プログラム毎の必修科目です。所属するプログラムの科目（ただし論文指導Ⅰ・Ⅱを除く）を1年次に履修してください。
- 所属プログラム以外の専門科目の単位を修得した場合は、選択科目の単位とします。

③選択必修科目について

選択必修科目を修了に必要な単位数（協同組合プログラムは6単位、他のプログラムは4単位）を超えて修得した場合は、選択科目の単位とすることができます。

④学籍科目について

- 自身の学籍上の所属専攻（政治学専攻もしくは公共政策学専攻）が設置する科目から4単位以上修得してください。
- 学籍科目を修了に必要な単位数を超えて単位を修得した場合は、選択科目の単位とすることができます。
- 自身の学籍上の所属研究科専攻が「公共政策研究科公共政策学専攻公共マネジメントコース」の方で、本インスティテュートの以下選択科目の単位を修得した場合、学籍科目の単位とすることができます。
社会調査法4、社会調査法5、政策学基礎、行政学基礎、自治体論、雇用労働政策研究、市民社会論、シンクタンク論、CSR論
- 自身の学籍上の所属研究科専攻が「政治学研究科政治学専攻」の方で、本インスティテュートの以下選択科目の単位を修得した場合、学籍科目の単位とすることができます。
政治学概論、政策学基礎、行政学基礎、自治体論、雇用労働政策研究、公務員制度研究、市民社会論、シンクタンク論

⑤他専攻設置科目及び単位互換制度について

- 自身の学籍上の所属でない研究科・専攻の科目の単位を修得した場合は、10単位を上限として選択科目の単位とすることができます。
- 本インスティテュート生は「首都大学院コンソーシアム」の単位互換制度を利用することができます。この制度に加盟している協定校の授業を履修し単位を修得した場合、10単位を上限に選択科目の単位とすることができます。

⑥特論演習Ⅰおよび特論演習Ⅱについて

1年次に所属プログラムの特論演習Ⅰおよび特論演習Ⅱを履修してください。他プログラムの特論演習Ⅰおよび特論演習Ⅱは履修できません。

⑦論文指導Ⅰおよび論文指導Ⅱについて

- ・2年次に所属プログラムの論文指導Ⅰおよび論文指導Ⅱを履修してください。
- ・春学期に論文指導Ⅰ、秋学期に論文指導Ⅱを履修してください。
- ・論文指導Ⅰの単位を修得していない場合、論文指導Ⅱの履修はできません。

⑧研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」の履修について

- ・留学生を対象とした日本語論文作成のための研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」を開講します。受講希望者は「研究科共通 日本語科目」の項を参照してください(213 ページ)
- ・研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」の単位を修得した場合、選択科目の単位とします。

⑨その他

- ・単位を修得した科目については、次年度以降同じ科目を履修することはできません。
- ・入学後所属プログラムの変更はできません。

2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに履修して単位を修得した科目を今年度もう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同じ名前の科目を複数履修すること。

【他専攻】：他専攻の学生が履修可能な科目。

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
<基礎科目（必修）>						
労働組合論Ⅰ	中 村 圭 介	2			○	
協同組合概論Ⅰ	伊 丹 謙太郎	2			○	
NPO論（現状と課題）Ⅰ	柏 木 宏	2			○	政治「NPO論1」、公共「NPO論」と合同
連帯社会とサードセクター	中村圭介・柏木 宏・伊丹 謙太郎	4			○	政治「連帯社会とサードセクター」と合同
<専門科目（必修）－労働組合プログラム>						
労働組合論Ⅱ	中 村 圭 介	2			○	
労働組合特論演習Ⅰ	中 村 圭 介	2			○	
労働組合特論演習Ⅱ	中 村 圭 介	2			○	
論文指導Ⅰ	中 村 圭 介	2				
論文指導Ⅱ	中 村 圭 介	2				
<専門科目（必修）－協同組合プログラム>						
協同組合概論Ⅱ	伊 丹 謙太郎	2			○	
協同組合特論演習Ⅰ	伊 丹 謙太郎	2			○	
協同組合特論演習Ⅱ	伊 丹 謙太郎	2			○	
論文指導Ⅰ	伊 丹 謙太郎	2				
論文指導Ⅱ	伊 丹 謙太郎	2				
<専門科目（必修）－NPOプログラム>						
NPO論（現状と課題）Ⅱ	柏 木 宏	2			○	政治「NPO論2」、公共「市民社会ガバナンス論」と合同
NPO特論演習Ⅰ	柏 木 宏	2			○	
NPO特論演習Ⅱ	柏 木 宏	2			○	
論文指導Ⅰ	柏 木 宏	2				

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
論文指導Ⅱ	柏 木 宏	2				
<選択必修科目>						
地域社会運動論	中 村 圭 介	2			○	
ユニオン・イノベーション	藤 村 博 之	2			○	隔年開講。
産別機能研究	中 村 圭 介	2			○	
比較社会労働運動史	篠 田 徹	2			○	
協同組合運動の理念と歴史	伊 丹 謙太郎	2			○	
協同組合・NPOの会計	齊 藤 敦	2			○	
協同組合のステークホルダー参加	前 田 健 喜	2			○	
協同組織運営の論理と制度	伊 丹 謙太郎	2			○	
NPOとソーシャルチェンジ	柏 木 宏	2			○	
NPOと事業創造	伊 藤 伸	2			○	
NPOとヒューマンリソース	伊 藤 伸	2			○	
NPOの資金環境	小 堀 悠	2			○	
<選択科目>						
政治学概論	山 口 二 郎	2			○	政治「政治過程研究1」と合同
社会調査法4	見 田 朱 子	2			○	公共・サステナビリティ「社会調査法4」と合同
社会調査法5	小 磯 明	2			○	公共・サステナビリティ「社会調査法5」と合同
政策学基礎	渕 元 初 姫	2			○	政治「公共政策研究1」、公共・サステナビリティ「政策学基礎」と合同
行政学基礎	土 山 希美枝	2			○	政治「行政学研究」、公共・サステナビリティ「行政学基礎」と合同
国際労使関係論	長 峰 登記夫 鈴 木 玲	2			○	
自治体論	休 講	2			○	政治「自治体研究2」、公共「自治体研究」と合同
雇用労働政策研究	濱 口 桂一郎	2			○	政治「雇用・労働政策研究」、公共「雇用労働政策研究」と合同
労使関係法概論	浜 村 彰	2			○	
労働契約法・労働基準法概論	沼 田 雅 之	2			○	
人事制度論	休 講	4			○	経営「人事制度論」と合同
人的資源管理論	藤 本 真	4			○	キャリア「人的資源管理論」と合同
経済学基礎A	宇都宮 仁	2			○	経済「経済学基礎A」と合同
経済学基礎B	仲北浦 淳基	2			○	経済「経済学基礎B」と合同

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
ジェンダー経済論 A	休 講	2			○	経済「ジェンダー経済論 A」と合同
ジェンダー経済論 B	休 講	2			○	経済「ジェンダー経済論 B」と合同
公務員制度研究	合 田 秀 樹	2			○	政治・公共「公務員制度研究」と合同
労働市場論	藤 本 真	4			○	経営「労働市場論」と合同
市民社会論	菅 原 敏 夫	2			○	政治・公共「市民社会論」と合同
国際 N G O ・ N P O 論	休 講	2			○	サステイナビリティ「国際 N G O ・ N P O 論」と合同
シンクタンク論	蒔 田 純	2			○	政治・公共「シンクタンク論」と合同
C S R 論	長谷川 直 哉	2			○	公共「C S R 論」、サステイナビリティ「サステイナブル経営論」と合同
サードセクター協働論	柏 木 宏	2			○	

※科目名称の変更について（以下科目については 2018 年度より名称変更しました。）

新科目名（2018 年度以降）	旧科目名（2017 年度以前）	備 考
サードセクター協働論	社会的企業	

※科目の廃止について

廃止科目名	備 考
協同組合・NPO の法制度	～ 2019 年度
協同組合のガバナンスと CSR	～ 2019 年度

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>